

関係各位

福岡県米・麦・大豆づくり推進協議会  
(事務局：J A 福岡中央会担い手サポートセンター営農振興担当)  
(公 印 省 略)

### 営農情報 3

## 《水稻のイネカメムシについて》

近年、県北地域を中心に不稔籾や斑点米の原因となるイネカメムシ（写真 1）が確認され、発生地域が拡大しています。本年も、早期水稻を中心に各地で確認され、昨年よりも発生数が多く被害が懸念されます。

イネカメムシは、出穂直後から籾を加害し不稔籾を生じるため、ほ場内で発生を認めたら出穂期（4～5割の穂が出た時期）に防除を実施します。防除後、さらに発生が認められる場合は、斑点米の発生を防止するため追加の防除を実施します。

なお、防除にあたってはみつばちへの影響を十分に考慮して行ってください。

#### 【イネカメムシ防除上、注意すべき事項】

- ・発生には地域的な偏りが見られます。発生が多く認められる地域では、防除を徹底しましょう。
- ・周囲と比べ出穂が早いほ場では、被害が多くなる可能性があります。発生状況に注意し、必要に応じて防除を行いましょ。
- ・移動性が高く、畦畔の草刈りを行ったほ場でも多発する場合があります。
- ・今後、発生拡大のおそれがありますので、普通期水稻においても出穂期には発生状況に注意してください。
- ・薬剤防除にあたっては、周辺作物への飛散防止に努めるとともに、農薬使用基準（使用時期、使用回数等）を確認し、適切な薬剤散布を心がけましょ。

(参考資料)

表1 7月2半旬におけるイネカメムシの払い落とし成虫数

調査地点	品種	R4	R5
A	夢つくし(早期)	0	5
B	コシヒカリ(早期)	0	2
C	夢つくし(早期)	0	0

注1)25株払い落とし調査



左：成虫（体長 13mm 前後）

右：幼虫

写真1 イネカメムシ

※令和 5 年度病害虫発生予察技術情報 1 号より引用